

農林水産大臣

山田正彦様

早期開門調査の実施を求める要請書

平成22年7月26日

佐賀県

佐賀県議会

佐賀県有明海沿岸市町水産振興協議会

佐賀県有明海漁業協同組合

早期開門調査の実施を求める要請書

諫早湾干拓事業の潮受堤防排水門の開門調査の是非について、政府の方針案を検討するため、去る平成22年3月3日に諫早湾干拓事業検討委員会が設置され、同委員会から4月28日に「開門調査を行うことが至当と判断する。」との報告書が農林水産大臣あて提出されましたが、未だ開門調査を実施するとの決定が行われていません。

一方、有明海では、依然として、赤潮、貧酸素水塊が多発し、二枚貝類は激減したままで、ここ数年、佐賀県西・南部海域を中心にノリの色落ちが発生するなど、一日も早い有明海の再生が強く望まれています。

このため、私たち、佐賀県、佐賀県議会、佐賀県有明海沿岸市町水産振興協議会、佐賀県有明海漁業協同組合は、7月22日に、開門調査の実現に向けて、「宝の海・有明海の再生を願う佐賀県民大会」を開催し、宝の海・有明海の再生を願うおもいは、県民の総意であることを確認しました。

ついては、有明海の再生のため、下記のことを強く要請します。

記

- 1 諫早湾干拓事業検討委員会の結論に基づき、「開門調査を行う」ことを直ちに決定すること
- 2 開門調査の実施にあたっては、農業・漁業生産や背後地の防災対策への影響など、関係者が持つ懸念に対する万全の対策を講ずること
- 3 開門調査の結果を確実に有明海の再生につなげること

平成22年7月26日

佐賀県知事 古川 康



佐賀県議会議長 留守茂幸



佐賀県有明海沿岸市町水産振興協議会
会長（佐賀市長） 秀島敏行



佐賀県有明海漁業協同組合
代表理事組合長 川崎 守

